

『第43回福岡県歯科技工ゼミナール』

(講演抄録)

演題

『誰でもできる総義歯製作のコンセプトとフィロソフィー』

近年、歯科医療の発展と共に歯科技工を取り巻く環境も変革期にあります。臨床総義歯学も超高齢化時代を迎え、無歯顎治療の総義歯製作法もエビデンスを求めたより客観的な臨床術式とチーム歯科医療が求められています。そこで平成26年6月1日(日)の、技工ゼミナールでは、世界の医療先進国においてグローバルスタンダードとなっているBPSのガイドラインと臨床補綴システムについて紹介し、臨床症例に応じた人工歯排列のゾーンと咬合様式を力学的、生理学的な観点から臨床的に考察する予定です。そこで症例別に異なる歯槽軸(Alveolar Axis)に調和した咬合平面と咬合様式のガイドラインを考察し、残留モノマーを考慮した品質管理による最新の重合システムについて紹介したいと考えています。現在、欧米の歯科大学・歯学部でも総義歯臨床学・インプラント臨床補綴学における上部構造の技工・有歯顎の歯冠修復学および無歯顎補綴のガイドラインとして採用されている新しい補綴システムの考え方についてご紹介する予定です。

また、より客観的な総義歯臨床のコンセプトと総合的な臨床技工のガイドラインについて考察してみたい。

時間が許せば厚生労働省令一部改正の意義と歯科医療における歯科技工の将来展望についても、皆様と共に考察して視たいと考えています。

時間の許す限りご参加戴いた皆様と共に、今回のテーマでありますより効率的な総義歯の臨床的ポイントについて考察し、実り有る講演会にしたいと考えています。

(公益社団法人) 日本歯科技工士会認定講師
佐藤補綴研究室 (オッセオインプラントラボ)
佐藤幸司